

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			市民の安全安心の確保が必要であるため			
活動指標	指標	a	施設整備数	b	車両整備数	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市民の安全安心の確保		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 施設整備数	ヶ所	10 ヶ所	50 ヶ所	67 ヶ所
b 車両整備数	件	3 件	12 件	4 件
c				
d				

4. 課題と対応

課題
国の補助事業等が縮小傾向にあるため、補助金の有効な活用を行い、地域消防力を向上させることが課題となる
対応（改善点等）
予算の範囲内で緊急性の高いものの優先順位を加味して実施していく

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

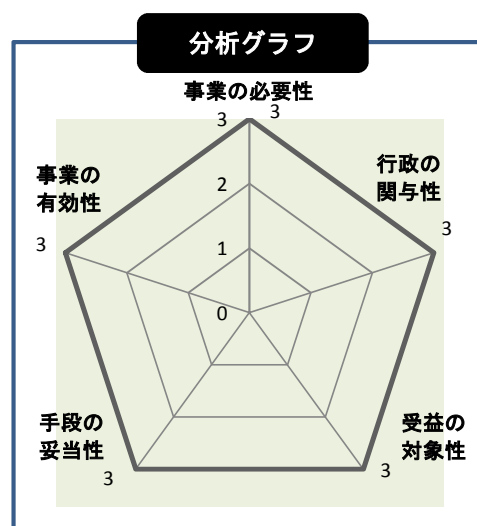
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		56,134	99,946	119,878	82,100
財源内訳	国費	23,095	75,050	86,353	39,972
	県費	3,688	4,588	4,505	4,700
	市債	8,300	9,500	9,800	9,800
	その他				
	一般財源	21,051	10,808	19,220	27,628
	うち経常	6,969			
事業費に係る人件費		7,896	7,936	8,540	4,300

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
国補助金が減額されたため補助金の範囲内の事業実施

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 改善要望箇所を実施
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市の果たすべき事業
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 優先的なものから対応する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 消防法に基づいた果たすべき責務
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 災害対応の強化が保たれる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で効果的に実施すること